

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会 ☎075 - 432 - 3261

2020年5月①号

新型コロナウイルスによる影響はあらゆる分野で、深刻化しています。切実な声や要望を議会に届け、命とくらし、営業支援策を強めるよう求めています。

以下、いくつかの制度を紹介します。

新型コロナウイルスによる影響で利用できる制度

◆緊急小口資金（生活福祉資金特例貸付）

上限20万円まで、収入が減少し、生計維持のための資金
*貸付けですが、非課税世帯など、償還免除の制度が検討されています。

⇒北区の方は、北区社会福祉協議会（Tel441-1900）に「申請用紙を送ってください」と電話をすれば、申請用紙が送られてきて、必要書類を整えて、郵送で申請します。

◆特別定額給付金 国民一人10万円の給付

皆さんお待ちかねだと思いますが、申請の手続きを整えるのに時間がかかるのとこと、申請用紙が送られてくるのはまだだいぶ先になります。（10年前の定額給付金の時は、準備に2ヶ月半かかりました。少しでも早くしたいとは言っています・・・）

⇒郵送による申し込み。郵送で申請用紙が送られてきて、世帯毎に郵送にて申請をすることになっています。

◆（京都府）休業要請に対する支援給付金

5月6日まで休業した事業者を対象に、中小企業20万円、個人事業主10万円を一律給付する。要請に従い営業時間を短縮した事業所、飲食店などの営業時間短縮も対象
対象期間は4月25日～5月6日までの間

⇒申請は5月7日～6月15日

◆国の持続化給付金：法人200万円、個人事業者100万円
新型コロナウイルス干渉による影響により、ひと月の売り上げが前年同月比で50%以上減少している事業所

⇒ホームページ「持続化給付金」で検索しアクセスし、申請する。（補正予算成立（予定は4月30日）の翌日より開設予定）

◆京都市中小企業緊急支援補助金 補助上限額30万円

中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業所のうち、売上高が50%以上減少しているもの。衛生対策や販売促進、デリバリーやテイクアウトの導入など、厳しい状況にあっても事業を継続されるための新たな取組

補助率：売上減少が50～80%は3/4、80%超は4/5

⇒申請は5月11日～15日 郵送受付のみ（申請書はホームページからダウンロード）補助対象期間：4月1日～9月30日に完了する事業お問い合わせナビダイヤル 0570-000-328

*京都府緊急事業者支援：小規模事業者（上限20万円：2/3）、中小企業（上限30万円：1/2）があり、併用可能

◆京都市文化芸術活動緊急奨励金 上限30万円

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、展覧会や公演等の中止・延期が相次ぎ、政策・発表の機会が休職に失われている中であっても、文化芸術の担い手の活動を支援するため、映像配信などのあらたな発表手法や展覧会・公演の企画開発などに対し、奨励金を交付。

⇒申請5月7日～17日、郵送又はオンラインにて申請

（京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課：電話075-366-0033）

つばやき：新型コロナウイルス対策から見えること。

今回の新型コロナウイルスによる影響で、日常から不安定な状況で働く労働者に大きくしわ寄せが来ています。一つが大学や専門学生さんです。現在、学生さんの多くはアルバイトをされ、飲食業などでは重要な担い手にもなっています。しかし、今回、真っ先にバイトがなくなり、生活や学費の確保にも影響がおよび、退学に追い込まれる方も出てきています。そして、もう一つが女性の働き方の問題です。非常勤で働く女性が多い中、やはり、真っ先に待機となり、休業補償もされず、収入が激減している方も多くあります。さらに、DVなどの被害も増えていると言われています。社会全体が困難になった時、弱い所に被害が集中するように感じます。日頃より、学費が保障され、働く環境も安定していることが、大事であり、取り組む必要性を実感しています。



京都市にフリーランスの実態や要望を提出し、記者会見される「京都コロナ対策文化ネット」の皆さん

ドイツの文化支援！
アーティストは、いま生きるために必要不可欠な存在である。誰も置き去りにしない」というドイツ連邦政府の文化相モニカ・グリュッタースの演説が有名になった。そして、国籍問わず全ての人に約60万円が支給され、即時支援」が高い評価を得た。
日本の文化人の多くから、ドイツベリン市のフリーランス向けの新型コロナウイルス経済対策と、モニカ文化相の言葉に感動の声が寄せられました。
先日、文化に携わる歌手、作曲家、映画配給者、音響企画者の方が京都市に要請行動をされた際に同行し、切実な声を伺った。4月、まったく収入がない。お金も必要だが、仕事がない。表現活動をしたくない。など、ドイツの文化相の言葉が紹介され、要請にも、力が込められました。

